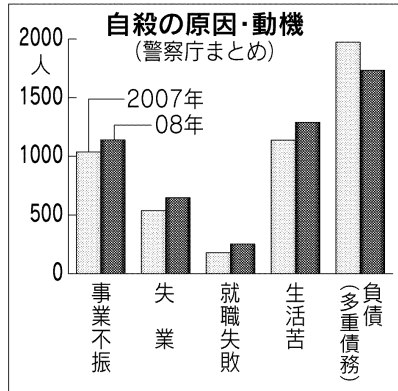


# 自殺、不況の影色濃く

二〇〇八年に全国で三万二千人余りに上った自殺者のうち、失業が原因だった人が前年より二割、生活苦が二割強増えたことが十四日、警察庁のまとめで分かった。事業不振による自殺も増加。急激な景気悪化や企業の人員削減などが背景にあるとみられる。年齢別では依然、中高年層の割合が高いものの、三十代が過去最多になった。

## 「失業が原因」2割増

## 「就職失敗」も4割増



## 昨警察庁調べ 30代は最悪に

▼警察庁の自殺統計は警察は変死者のうち、現場の状況や検視結果、動機の有無などから自殺者を認定する。原因・動機は遺書や周囲の話などで裏付けが取れば集計する。二〇〇七年分の統計から五十二項目に再編し、現場の警察官が三つ

まで選ぶ形にした。〇八年は前年より自殺者数が今四月初旬に公表。〇九年分からは月別の自殺者数も発表している。

### 前年29人から激増

警察庁によると、二〇〇八年の自殺者のうち硫化水素を使ったのは千五百六十六人。前年の二十九人から激増した。二十一歳から七割強を占める。ピークだった〇八年の四、五月はそれぞれ二百人前後が自殺し、その後は月五十人前後で推移。今年一月も計百八十一人の上っている。〇八年の硫化水素による

### 硫化水素使用、1000人超

自殺者は七九%が男性。年代別では二十代の四百六十六人が最も多く、それに次ぐ三十代は二百九十二人だった。

警察庁は硫化水素の発生方法などが書き込まれたインターネットサイトの削除を管理者らに要請するなど対策を取っているが、今も後を絶たないのが実情だ。

警察庁は〇八年の自殺者約二万三千人のうち、者総数について先月、三「事業不振」を原因とし万二千二百四十九人だったのは千三百三十九人と前たと発表。十一年連続で年比九・八%増。「失業」三万人を超え、月別では二〇・四%増の六百四「リーマン・ショック」十八人、「生活苦」は一直接の十月が最多だった。三・四%増の千二百八十九人。「就職失敗」も四・六%増えた。職業別でも、全体の六割弱を占める無職者のうち「失業」や「年金・雇用保険等生活者」の自

自殺が増えた形とみる。若い世代増える年代別では、三十代が一・七%増の四千八百五十九人で、統計を取り始めた一九七八年以降で最多になった。二十代も三・九%増。六十歳以上は過半数を占めた。自殺者増加が目立った。四項目が計上された。ラ

自殺が増えた。特定非営利活動法人(NPO法人)「自殺対策支援センター」ライフリンクの清水康之代表は「不況が影響している」と指摘したうえで、「原因・動機別では『失業』などが増えた半面、グレーゾーンの金利の撤廃など一定の対策が取られつつある」と指摘。『多重債務』などは減った。対策の分野で自殺が増えた形とみる。若い世代増える年代別では、三十代が一・七%増の四千八百五十九人で、統計を取り始めた一九七八年以降で最多になった。二十代も三・九%増。六十歳以上は過半数を占めた。自殺者増加が目立った。四項目が計上された。ラ